様式第９

# 議　事　録

| | |
|---|---|
| 会　議　名 | 令和７年第２回設楽警察署協議会（定例会） |
| 日時・場所 | 令和７年５月15日（木）午後１時30分から午後３時30分まで |
| 出　席　者 | １　委員　５名（定数６名）<br>髙井　豊会長<br>後藤　佳史副会長<br>夏目　敬子委員<br>石田　三千枝委員<br>SPINETTI　ELENA委員 |
| | ２　警察署員　９名<br>原田署長　馬原副署長　源馬会計課長<br>佐藤生活安全課長　寺島地域課長　澤田刑事課長<br>兵藤交通課長　警備課長　警務課長代理 |
| | ３　有識者等<br>なし |

１　会長挨拶
２　署長挨拶
３　報告内容
　(1)　管内の治安情勢
　(2)　前回の意見・要望に対する具体的な施策の推進状況
　　ア　前回の協議事項
　　令和７年設楽警察署に望むこと
　　イ　前回の意見・要望
　　・　地域住民とのふれあい、親しみが持てる活動を今後も継続してほしい。
　　・　特殊詐欺をはじめとした色々な犯罪の情報発信をしてほしい。
　　・　空き家や別荘等の住人を把握したり、パトロールを強化してほしい。
　　・　あおり運転等の危険な行為に対する対策と運転マナーを守るように広報をしてほしい。
　　ウ　施策推進状況
　　・　子供たちに対する学校の登下校時において見守り活動や警察官とふれあうイベント等を開催し、親しみが持てる活動を行った。
　　・　特殊詐欺等の犯罪についてパトネットや防災無線、自治体の広報紙

等を活用して情報発信を行った。

・　巡回連絡の際、空き家だった場合は近所の住民に尋ねるなどし、所有者の把握などに努めた。

・　イベントや交通安全教室を開催し、交通マナー向上のための広報啓発を行った。

４　協議事項

少年に対するＳＮＳに起因する非行・被害防止対策

５　発言の要旨

・　今の子供は生まれた頃から携帯電話があり、ＳＮＳは身近な存在であるが、親世代はＳＮＳについてよく理解していない人もいる。

・　親がＳＮＳの危険性を具体的に知らないと、子供に伝えることができないので、子供だけでなく親にも講話をしたらいいと思う。

・　学校等と連携し、親が学校に行くような機会に、親と子双方に対する講話などはできないだろうか。

・　講話の際は、チラシ配布等だけではなく、闇バイトやＳＮＳの危険性を知ることのできる映像等を見せたり、体験型の講話にすると効果的だと思う。

・　巡回連絡をしているが、その際に親に対する啓発をしてもいいと思う。

・　親としては自分の子に対し、知名度のある企業でアルバイトをしてほしいと考えるが、子供はアルバイトをＳＮＳで探し、「簡単、短時間、高収入」等の言葉に釣られやすいから心配だ。

・　警察が広報啓発をする際は実際にどういうことに気をつけるべきなのか、どうしたら安全なのかなど、具体的な内容で発信してほしい。

・　過去の事例などで発表できるものがあればそれをもとに情報発信してほしい。

６　意見・要望

・　親世代を含めた分かりやすい啓発活動を実施してほしい。

・　巡回連絡等を活用した幅広い啓発活動をしてほしい。

・　非行、被害防止のために具体的な内容を情報発信してほしい。

７　その他

次回開催予定

令和７年８月上旬ころ

備考　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。